

# 令和元年度 学校評価の結果と考察

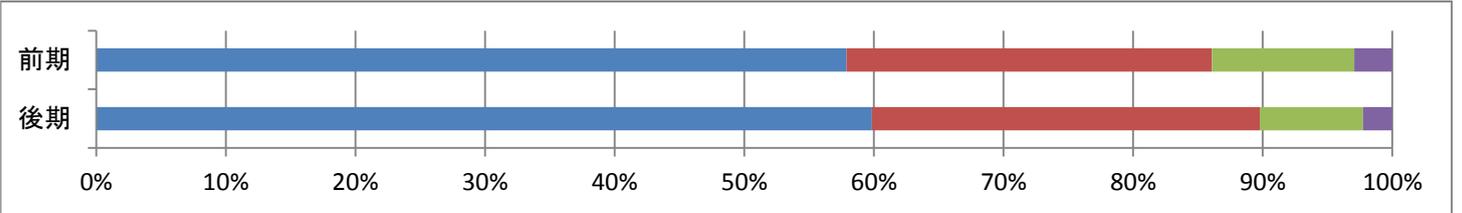
令和2年4月  
京都市立西野小学校  
校長 佐野 丈夫

令和元年度の学校評価の結果と考察をお知らせいたします。保護者の皆様には、年2回の学校評価へのご協力、誠にありがとうございます。今回は、児童・保護者・教職員に対する設問より前後期を比べて差のあった項目を抽出し、その結果と考察をお知らせいたします。  
なお、「よく出来ている」をA、「大体出来ている」をB、「あまり出来ていない」をC、「できていない」をDと表記しています。

## 児童

設問2「授業中、自分の考えをもてている。」

	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	できていない
前期	57.9%	28.2%	11.0%	2.9%
後期	59.8%	29.9%	8.0%	2.3%

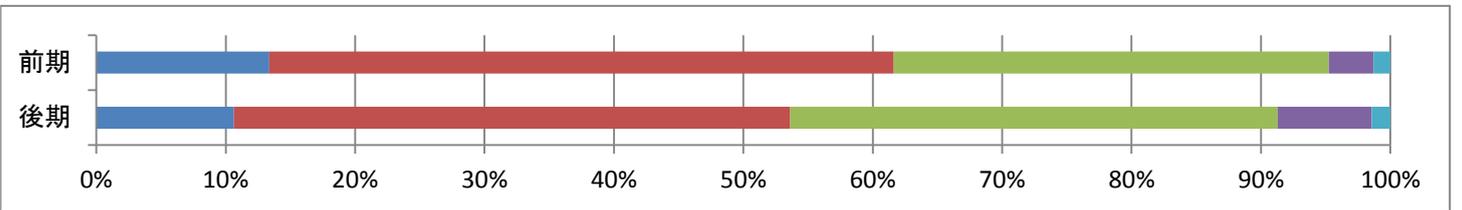


設問2「授業中、自分の考えをもてている。」のAB評価が前期86.1%から後期89.7%となりました。子どもたちは、自分の考えは大方もてているようなので、それを発表につなげていけるよう支援を図ってまいります。  
令和2年度から本校の「目指す子ども像」の文言を変えました。その1つ目を、「自分の考えをもち、表現する子」とし、思考力、自己表現力をつけることを大切にしていきます。学校としては、自分の考えを表現できるよう授業の展開・場の工夫をして取り組んでいきます。

## 保護者

設問5「子どもは、自分からあいさつをしている。」

	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	できていない	わからない
前期	13.4%	48.3%	33.6%	3.4%	1.3%
後期	10.6%	43.0%	37.7%	7.2%	1.4%

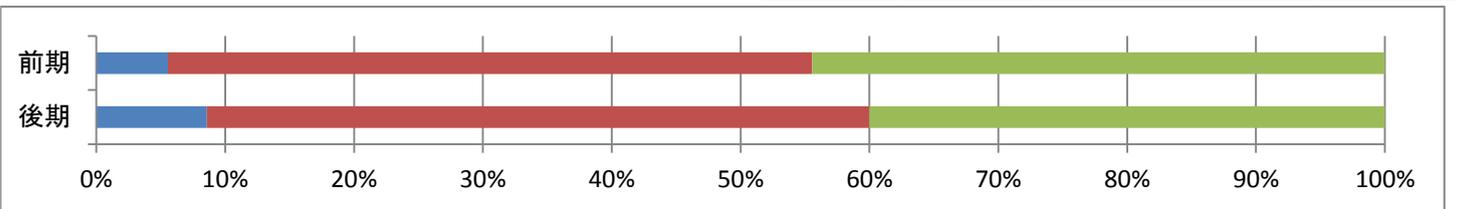


設問5「子どもは、自分からあいさつをしている。」では、実現度のAB評価が前期61.7%から後期53.6%に下がりました。毎朝教職員が通学路や正門前で子どもたちの登校を見守っています。私たちがあいさつするとほとんどの子たちは返してくれますが、保護者の皆様には「自分から」という視点がまだまだできていないと感じておられるのかもしれませんが、「おはよう」だけでなく、人と良い関係を築いていくためにはあいさつは欠かせません。「いただきます」「ありがとう」「ごめんなさい」「さようなら」など素直な気持ちで「自分から」言えるよう学校でも指導していきます。

## 教職員

設問2「子どもは、好き嫌いせずに食べている。」

	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	できていない
前期	5.6%	50.0%	44.4%	0.0%
後期	8.6%	51.4%	40.0%	0.0%



設問2の「子どもは、好き嫌いせずに食べている。」では、前期に比べ、後期のAB評価の割合が55.6%から60%に増えています。給食では、普段食べ慣れないメニューもよくできてきますが、子どもたちはがんばってチャレンジしています。完食できなくても「半分は食べる」「あと2口は食べる」というように少しずつ前向きに食べることができています。栄養のバランスのとれた食事は丈夫な体をつくり、健康に生きていく上で欠かせません。各ご家庭でも日常的に季節や行事、食材など食への関心を高めていけるようなお話をさせていただけるとありがたいです。

各設問の結果は「令和元年度後期学校評価」をご参照ください。皆様からいただいた評価やご意見は有益で大変意義のあるものになっております。ありがとうございます。今年度も本校教育にご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。